

国際認証とカリキュラム改革 ータフツ大学の経験

Curriculum Reform and Accreditation in Medical Education -Lessons from Tufts University

日時 : 2014年11月17日 (月) 18:00 - 19:30

場所 : メルパルク京都 研修室4

講師 : Mary Lee先生

米・タフツ大学医学部教授

東京大学医学教育国際研究センター特任教授

※ お申し込みは、cme.med.kyoto-u.ac.jpで受けています。

数十年にわたって基礎医学と臨床医学の統合による学習の改善という医学教育改革が叫ばれてきたが、医学生や教員にとってどのような変化が差を生むのだろうか。すでに研究、臨床、教育をやり繰りし、精一杯働いている研究志向の大学で変化を起こせるのか。タフツ大学の統合カリキュラムの例では、医学・歯学・獣医学の4年分の教材をオンラインで学生と教員が常に利用でき、評価では双方向学習と臨床スキルに重点が置かれ、学生同士あるいは学生-教員間のよりよい関係性により、批判的思考や問題解決スキルを伸ばしてくれるといった双方向事例学習を通じた論点が提示できる。今回の講演では、改革プロセスにおいて鍵となるポイント、学生と教員に与えられた選択のもたらすインパクト、得られた教訓について議論したい。

THE
20TH
KYOTO
UNIV

INTERACTIVE
SEMINAR

◆ お問い合わせ

京都大学医学教育推進センター

Tel : 075-753-9454

Fax: 075-753-9339

<http://cme.med.kyoto-u.ac.jp>

060edu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp